



平成 29 年 1 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム
代 表 者 代表取締役社長 長 野 純 一
(コード番号 1919 東証第 1 部)
問 合 せ 執行役員管理本部長 角 田 仁
(T E L. 027-330-5750)
当社の親会社 株式会社ヤマダ電機
代 表 者 代表取締役社長 桑 野 光 正
(コード番号 9831 東証第 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月 14 日に公表しました平成 29 年 2 月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成29年 2 月期 通期連結業績予想の修正 (平成28年 3 月 1 日～平成29年 2 月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,000	500	450	200	0.98
今回修正予想 (B)	46,000	△70	△100	△320	△1.57
増減額 (B - A)	△4,000	△570	△550	△520	—
増減率 (%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (平成28年 2 月期)	47,723	452	423	278	1.36

(2) 平成29年 2 月期 通期個別業績予想の修正 (平成28年 3 月 1 日～平成29年 2 月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	48,000	380	180	0.88
今回修正予想 (B)	43,500	△250	△410	△2.01
増減額 (B - A)	△4,500	△630	△590	—
増減率 (%)	△9.4	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (平成28年 2 月期)	45,765	174	114	0.56

(3) 修正理由

平成 29 年 2 月期通期業績につきまして、経営構造改革の一環で実施しました住宅事業での全展示場の改装、建て替えに伴う閉店期間の受注減（計画比 92.5%）が計画へ大きく影響を及ぼした事から、当期中に見込んでいた受注からの着工数が予想を下回り、売上高が減少する見込みとなりました。また、リフォーム事業においても受注体制整備の遅れの影響がありました。経費面においては、営業体制の強化を図るため展示場人員の見直しによる積極的な営業社員の採用及び呼び込み人員の増加（約 60 名増員）、ストアロイヤリティ向上や受注増加のための C I 戦略（チラシ・TVCM）等の前向きな先行投資により、当初計画にない経費（人件費、広告宣伝費・修繕費等）が発生しました。これにより、利益水準は当初計画を下回る見込みになりました。

以上により、連結業績予想並びに個別業績予想について、前回予想を修正致します。

(4) 今後の方針

下期以降、57 展示場中 10 展示場が建替えの中、新築受注に関しては前年比 109%で推移し、12 月に関しましては、経営構造改革の成果が出始め、受注棟数ベースで前年比 126%の推移となりました。これら展示場のリニューアルオープン（11 月：1 展示場、12 月：3 展示場、1 月：6 展示場）に伴い、今後、更なる受注の増加を見込んでおり、現状の受注残は前年と比較し 12 月末現在前年比 106%の推移となり、期末においては更なる受注の増加及び受注残の増加を目標とし来期の売上高増加を図ります。

※ 本資料に掲載されている業績予想等の将来予測に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上